



# 東近江市妹水害履歴マップその③(全3枚)

(H26.8.8 妹集落センターで行った聞き取り調査に基づき作成、参加者6名)

## 水防活動

### 昭和13年 2度の台風

- ・増水時には川幅いっぱいの水を一升水、少し少ない状況を八合水と呼び、増水の危険を把握していた。
- ・増水時には川に縄を渡し、それを頼りに家に帰った。
- ・増水時には地域の消防団が春日神社の木を切って木流し工法を行った。…①
- ・堤防の復旧に地元住民も協力した。職人の指示に従って、竹を編み石を入れる作業を行った。…②

### 昭和28年台風13号(9月25日)

- ・春日橋下流左岸に水防小屋があった。…③
- (土手を利用した2階建て、土のう袋やロープを保管)
- ・消防団が左右岸両方から川の見張りを行った。
- ・川が切れそうなところに応急的に木流しを行った。

### 昭和34年伊勢湾台風(9月26日)

- ・消防団で見回りを行った。
- ・集落センターに避難した。(避難期間は1日程度)…④

### 昭和36年第二室戸台風(9月16日)

- ・曾根地区にて名神高速の工事従事者と妹住民が水防活動(木流し工法)を行った。→堤防の決壊はなかった。



### 復旧作業の様子



破堤箇所では竹かごを編んでその中に石を詰め込んで並べた。(S13)…②

